

2018年5月14日掲載

抜いたまま？

顎の関節への負担増

むし歯や歯周病で歯を抜いてしまった所をそのままにしていますか。前歯の場合は見た目に影響するので抜いたまま放置している人は少ないでしょうが、奥歯はあまり見えないからといってそのままにしてしまう人がいるようです。しかし、歯を抜いたところをそのまま放置するのは良いことではありません。

歯科医師が専門的な観点からそのまま大丈夫と判断した場合や親知らずの場合は例外として、抜いたところを放置すると、かみ合っていた歯や隣の歯の移動、かみ合わせの不具合などが起き、顎の関節への負担が増して様々な障害を起こしやすくなります。抜いた歯が、その隣の歯やかみ合っていた歯を抑え、かみ合わせ全体を安定させる役割も果たしていたからです（ただし、元々そこに歯がなかった人は何もしなくても大丈夫な場合があります）。

一般的には、歯を抜いたら、その後その箇所を何らかの形で補うための処置が行われます。ブリッジ、入れ歯、インプラント、まれには移植など、さまざまな方法の中から、その後の治療方針について十分に歯科医師と話し合みましょう。

もしこれを読んでいるあなたが歯を抜いて、その後そのまま歯科医院に通院しなくなっていたとしたら、ぜひもう一度、勇気を出して歯科医院を受診してください。